

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年6月20日 (2013.6.20)

【公表番号】特表2012-529689(P2012-529689A)

【公表日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2012-514370(P2012-514370)

【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

G 0 7 D 7/12 (2006.01)

G 0 1 B 11/24 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 T 1/00 4 0 0 C

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

G 0 7 D 7/12

G 0 1 B 11/24 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月25日 (2013.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象物のシグネチャを作り出すための方法であって、

A 1 : 上記対象物の表面の第 1 領域を走査すると共に、この第 1 領域内の表面構造の少なくとも一部を示す走査信号を受信するステップと、

A 2 : ステップ A 1 において決定された上記走査信号からシグネチャを生成するステップと、

A 3 : 上記シグネチャを上記対象物と関連付けるステップと、

A 4 : 後の比較目的に使用可能にできる形態で、上記シグネチャを記憶するステップとを少なくとも備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

対象物の特定および / または認証をするための方法であって、

B 1 : 上記対象物の表面の第 2 領域を走査すると共に、この第 2 領域内の表面構造の少なくとも一部を示す走査信号を受信するステップと、

B 2 : ステップ B 1 において決定された上記走査信号からシグネチャを生成するステップと、

B 3 : ステップ B 2 において決定された上記シグネチャと、少なくとも 1 つの基準シグネチャとを比較するステップと、

B 4 : ステップ B 3 における比較結果に応じて、上記対象物の上記特定および / または上記認証についてメッセージを作成するステップとを少なくとも備えることを特徴とする方法。

【請求項 3】

表面を走査するためのセンサであって、

外部表面と、上記外部表面に対する法線を基準にして角度 で上記外部表面にまで延び

ている第 1 貫通部と、上記外部表面に対する法線を基準にして角度 で上記外部表面にまで延びている第 2 貫通部とを有し、上記角度 および角度 の絶対値が等しいブロックと

、
上記第 1 貫通部に配置され、上記外部表面の方向に走査ビームを送信可能な放射線源と

、
線形ビームプロファイルを形成するための光学素子と、
上記第 2 貫通部に配置され、上記外部表面の方向に整置されている光検出器と
を少なくとも備えることを特徴とするセンサ。